

東京大学（前期）【世界史】解答例

第1問

西欧地域ではゲルマン人の大移動が続き、5世紀後半に西ローマ帝国が滅亡した。代わってフランク王国はクローヴィスがアタナシウス派に改宗し、旧ローマ系の住民と融和して勢力を拡大した。6世紀半ば、ビザンツ帝国のユスティニアヌス帝がローマ帝国の復活を目指して征服事業を行ったが、没後に放棄された。7世紀頃からビザンツ帝国はギリシア語が公用語となり、ギリシア正教を基盤とする文化圏を確立した。その過程で異端の単性論派を弾圧したため、シリアやエジプト住民の反発を招いた。イスラーム勢力はこれらの不満を吸収する形で地中海に進出した。しかし、ウマイヤ朝では改宗したマワーリーにもジズヤを課していたため非アラブ人の不満が高まり、8世紀半ばにアッバース朝がウマイヤ朝を滅ぼすと、ムスリムの平等が達成されて住民のイスラーム化が進み、イスラーム帝国が完成した。同時期にビザンツ帝国のレオン3世はキリスト教圏の綱紀粛正のため聖像禁止令を發布したが、6世紀末の教皇グレゴリウス1世以降に聖像画を用いたゲルマン人への布教を進めていたカトリック教会は反発し、トゥール＝ポワティエ間の戦いでウマイヤ朝を破っていたフランク王国に接近した。教皇レオ3世はカール大帝を西ローマ皇帝として戴冠させ、ゲルマン・カトリック・ローマの文化が融合した西欧世界が確立した。両キリスト教会はバルカン半島に移住したスラヴ人への布教を進めて勢力圏拡大を競った。

第2問

(1)

(a)貨幣経済が浸透したため、賦役から貨幣地代への転換が起き、農民の経済力が向上した。また寒冷化やペストの流行等により農民が激減したため、労働力確保のため領主が農民の待遇を向上させた。

(b)農民は人格的に解放されたものの、農地の取得は有償とされた。また買い取り金の完済まで農地はミールに引き渡されて連帯責任となったため、生活はミールによって束縛されて改善しなかった。

(2)

(a)ホセ＝リサール

(b)アギナルドがスペインからのフィリピン共和国の独立を宣言し、アメリカが米西戦争に乗じてこれを支援した。しかし、アメリカが戦争に勝利してパリ条約によりフィリピンの領有権を獲得すると、米比戦争を起こしてアギナルドを破り、植民地統治を開始した。

(3)

(a)アパルトヘイト

(b)白人と黒人の生活領域が隔離され、黒人は多くの社会的・経済的差別を受けた。1980年代に冷戦が緩和すると西側諸国が経済制裁を課すようになり、国内の反対運動も激化して撤廃に向かった。

第3問

- (1)安史の乱
- (2)両シチリア王国（ノルマン＝シチリア王国）
- (3)ガズナ朝
- (4)メステーン
- (5)鄭成功
- (6)ナポレオン＝ボナパルト
- (7)マオリ
- (8)ジャガイモ飢饉
- (9)大韓民国臨時政府
- (10)ベルリンの壁